



### CONTENTS

「ぷれいす東京と私」.....	01
新人ボランティア合同研修会.....	02
ネスト・プログラム.....	03
部門報告(2014年7~9月).....	04
Living with HIV~身近な人からHIV陽性と伝えられたあなたへ~.....	08

### ぷれいす東京設立20周年記念巻頭シリーズ 第3弾

## 「ぷれいす東京と私」

岡本 学 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター) 医療ソーシャルワーカー

2005年1月、「陽性者の支援を担当したい！」と他の病院から医療ソーシャルワーカーとして転職して現職で働き始めてから、たくさんの陽性者の方々にお会いしてきました。薬害エイズ、性感染、母子感染、輸血による感染、感染経路は様々ですし、年齢・国籍・性自認・性的指向など、個人の背景ももちろんさまざまです。さまざま過ぎるので、「陽性者ってこんな人です」と言うことができないのは当然ですが、「うわぁ。生き難いんだなぁ。」という漠然とした印象を受けることが多いのは実際です。

「人に知られたらどうしよう。」「とてもじゃないけれど言えない。」表現の仕方は人それぞれですが、こんなにも人に言えない、隠さなきゃいけない、そうせざるを得ない社会があるんだということを、「そうらしい」とは知ってはいましたが、これほどまでにすさまじいんだと実感する他ない語りをたくさん聞かせてもらう日々を過ごしています。

「アタシ、どうしたらいいのぉ!!!」そんなことを毎日のように心の中で叫ぶような状況で、私に指針を示してくれたのは、『Living Together』でした。そして、長年多くの陽性者に寄り添ってこられた生島さんでした。

陽性者の生活上の困りごとを解決していくには、HIVに関連することだけでなく、福祉や医療、就労、法律など様々な事柄に携わる、地域で活動されている機関や人との協力関係を作っていくことが求められます。その際に、対決や対立ということではなく、「いっしょに」というスタンスで、HIVを特別なこととしてしまわず、日常のこととして取り組んでいく必要があります。同時に、社会の中で生き難さを背負わされて暮らしている陽性者には、ピアとの出会いの中で、ほっとできる関係の中で、互いにそれぞれの強みが輝きを取り戻せるような時間が持てるようにすることが重要で、プライバシー漏えいの不安から、できるだけ守られた環境を用意するということも大事な点です。こういったことを、ぷれいす東京に関わっ

てきたたくさんの方が積み上げてこられたこれまでの実践から教えてもらいました。

陽性者の方から、「感染がわかったばかりの不安な気持ちは、何年も経過した人ではなく、同じような状況の人と分かち合いたい」という声をいただいたときには、矢島さんたちが取り組まれてきたPGMのことが参考になるだろうと思いました。ぷれいす東京に相談をさせていただき、大阪に『ひよっこクラブ』をぷれいす東京にサポートしていただき立ち上げることができました。(実際の立ち上げや運営は私ではない方々の努力と熱意のたまものですが) また、現在はCHARMで行っている『HIVサポートライン関西』の立ち上げにも、生島さんや牧原さんたちに相談し支えられ、意見交換をさせてもらいながら取り組んでいます。今年度、新たに陽性者のカフェイベント『cafe bar an opportunity』を立ち上げた時にも、さまざまご相談をさせていただきながら…。

時には、「関西だからがくちゃんよろしくね。」と企業の従業員向けのHIV研修を丸投げいただいたり、様々な調査研究にも参加をさせていただいたり、薬物依存症からの回復を支援する人たちにHIVのことをわかってもらおう!という取り組みに巻き込んでいただいたり……。地域社会の準備性を上げていくことを常に意識しながらの活動に、ぷれいす東京のスタッフではない立場で一緒に参加させていただいていると、気が付いたら「病院のワーカーってそこまでの？」と周囲からは奇異な目で見られるソーシャルワーカーに育ってしまいました。

「ぷれいす大阪を作るときには、アタシにやらせて！」そんな軽口をたたいてしまうときもありますが、ぷれいす東京を必要としない社会になっていくことを願い、そこにたどり着くまで、一緒に頑張っていきたいと強く思っています。次の世代にはまだ必要かもしれないけれど、その次の世代には、必要とされないことを願って。

# 新人ボランティア合同研修会

2014年度の新人ボランティアの合同研修が、9月6日(日)のオリエンテーションに引き続き、9月14日(日)、15日(月・祝)、21日(日)の3日間の日程で開催されました。研修の報告と参加者の感想文をお届けします。

今年も9月のぶれいす東京恒例となった各部門合同の新人ボランティア研修会を開催しました。なんだかんだで13回目となった今回、昨年同様に新宿NPO協働推進センターでオリエンテーション、研修を実施しました。

オリエンテーションは、9月6日に21名、個別のオリエンの3名と専門家枠での1名を加えて、合計で24名が参加し、研修には18名が参加し無事修了しました。

研修は、日曜日と祝日を使つての3日間で開催。今年も朝の10時から夕方5時まで、ぶれいす東京が大切に思うこと、知識などのエッセンスがギュッと詰まった濃い3日を過ごしていただきました。今年は天候に恵まれ、涼しくらしいの気温だったので、駅からの遠い道のりも少しは楽に来ていただけたのではないのでしょうか。参加者のみなさま、本当にお疲れ様でした。

これからの部門での活動は、ぜひ楽しみながら、自分のペースで無理なく続けていただければと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。(報告：牧原)



HIVの社会的な背景をレクチャーする池上(研修1日目)

## ●研修参加者より

### 「ありのままに接することの大切さ」

てつ (40代 男性 ゲイ)

パートナーが最近HIV陽性になったことをきっかけに、HIVについてもっと知りたい、何か自分もぶれいす東京の活動に関わってみたい、という気持ちを持って参加してみました。

9月の連休に3日間、1日7時間も投資することには正直大きな躊躇もありましたが、3日間を終了した今は、思い切って参加することにして本当に良かったと感じています。

HIVに関する医学的知識や社会的制度が、わかりやすく体系的に説明されました。自己適性を見直す場があり、普段仕事をするときとは違った、ボランティア活動に従事する上での強みや弱みについて考えることができました。

性別、年齢、属性、嗜好などが異なる人たちと、一体どのように接したらいいのか、How toのコツを探し求めていた自分でした。いろいろな人たちと無理なく自然に意見を交換し、交流することができるようなプログラム設計がされていました。「ありのままの自分で、ありのままの相手をそのまま受け入れて、誠実に接することこそが大切だ」ということを身をもって学ぶことができ、自分

	9月14日(日)	9月15日(月・祝)	9月21日(日)
	グラウンド・ルール	グラウンド・ルール	グラウンド・ルール
午前	社会的な背景(池上)	セクシュアリティの多様性について(大槻)	制度や社会サービス(牧原)
	休憩	休憩	休憩
	医学的基礎知識① HIVの基礎知識と検査法(福原)	医学的基礎知識② 性感染症の基礎知識(福原)	ネスト・プログラムの取り組み(ネストスタッフ)
	昼食	昼食	昼食
	手記を読むワーク(スタッフ)	セイファークスリスクアセスメント(生島/スタッフ)	相手のある保健行動 コンドーム使用と使用依頼(生島/スタッフ)
午後	休憩	休憩	休憩
	陽性者の社会生活とプライバシー(生島)	エゴグラムと交流分析(野坂)	3日間の振り返り
	振り返り	振り返り	今後の活動について

の人生観に大きな影響を与えるところとなりました。

スタッフの方々の献身的な働きに触れ、本当に素晴らしい働きだと感動を覚え、自分も今後少しでも関与させて頂きたいと願っています。

一人でも多くの方々がこの研修に参加して頂きたいと願っています。ありがとうございました。



ロールプレイ「相手ある保健行動」(研修3日目)

### 「『知る』ことが大事」

ハタ

新人ボランティア研修では、3日間考えることがいっぱい、良い疲労感に包まれながら、参加することができました。

特に印象深かったのは、3日目のワークショップでのロールプレイです。私自身、ボランティアする側として、研修に参加しました。しかし、ロールプレイを実践し、「私自身がHIV感染したら大切な人にどのように言おう」「HIV感染を相談されたらどのようにアドバイスしよう」「大切な人がHIV感染したらどのような言葉をかけよう」と、自分自身のこととして考えることができました。ボランティアだけでなく、今後生きる上で、とても大事なことを教わりました。

また、1日目の講座では、「医療は進歩しても、社会的なHIV感染は根強い」ということを伺いました。その時は「ど

うしたら社会的な偏見はなくなるかな」とぼんやりと考えていましたが、3日間の研修を経て、私は「知る」ことが1番大事だと思いました。私は浅はかな知識しか持たずに、この研修に参加しましたが、HIVについて知れば知るほど、私自身のHIVの印象と変わっていくのを感じました。知識がないこと、これが1番良くないことだと思います。新人研修に参加して良かったです。ありがとうございました。

#### 「研修に参加して」

Yoshi

今年40歳という節目を迎え何か自分にできることはないかと考えた時、以前お世話になったぷれいす東京さんのボランティア研修に参加することを思い立ちました。

3日間の研修はHIVの基礎知識やセクシュアリティの多様性など、自分の知識を正しく再構築できる講義や、研修参加者同士で行うグループワークなど盛りだくさんのすばらしいカリキュラムでした。特に印象に残っているのは、HIV/エイズの30年史です。この病気の起こりから社会の混乱、ぷれいす東京の成り立ち迄、生のお話

を聞かせて頂き感慨深いものがありました。その際ご教授頂いたぷれいす東京の理念である「どんな病気を持った人も、自分らしく生きていける社会を作る。」という言葉に深く感動致しました。また、



ワーク「セィファーセックス リスクアセスメント」(研修2日目)

この度の研修には年代も性別も様々な方が参加されており、私がイメージしていた世界より広くHIV/エイズという病気が受け入れられ、関心を持たれていることを知り感銘を受けました。

私自身ボランティア経験は初めての試みですが、これから自分のできることを少しずつ探していきたいと考えております。

## ネスト・プログラム

さまざまなネスト・プログラムの中から、7月5日に行われた第4回 ピア+トーク 「HIV陽性者とアンチエイジング ~重力や時間に逆らうためにできること~」の参加者とスピーカーの感想文をお届けします。

### 第4回 ピア+トーク 「HIV陽性者とアンチエイジング ~重力や時間に逆らうためにできること~」

さまざまな経験をもつHIV陽性者をスピーカーに迎えてお話を聞くピア+トークでは、これまでに障害者枠での就職、薬物などの依存からの回復経験、妊娠・出産などをテーマにしてきました。

第4回は、アンチエイジングをテーマに7月5日に開催されました。生活や食べ物、思考パターンなど、前向きに、ポジティブに生きることを実践している男女2名の陽性者をスピーカーにお招きしました。

参加者30名のなかから2名と、スピーカー1名の感想文をお届けします。

#### 参加者より

##### 「笑顔になれた」

たく(40代/男性/ゲイ/初参加/2014年6月告知/未投薬)

感染を知って三週間、ネスト・プログラム初参加でした。この三週間は猛烈な感情の起伏の中、HIV感染を受け入れる、病態を知る、治療を知る、自分と向き合う作業の繰り返しでした。その作業途中の私には少し早い内容なのではとも考えましたが、他の陽性者の生の話が聞いてみたい、前向きに一步踏み出す勇気が欲しいと思い参加しました。

アンチエイジングには、まずは思考パターンが大事であること、ポジティブ思考への転換方法はとても参考に

なりました。現状がとてもネガティブな私にとって、「思考は現実になる」との言葉はとても心に響き、常に留めておきたい一言になりました。プログラム終了後、会場近くの本屋さんで早速薦めて頂いた本を購入、これも一步を踏み出すための一つだと考えています。その他、ストレスを溜めない方法や考え方、普段食べている物など、即実践できそうなお話を頂きました。翌日に食材を購入し、作ってみたものもあります。これも一步踏み出すための一つ、前向きに、前向きに！

今回のプログラムに参加し、自然に笑顔になっている自分に気付き、私にも「将来がある」と考えられるようになりました。久しぶりに笑顔になれた一時でした。本当にありがとうございました。

#### 「自然体で生きよう」

M(30代/感染告知2000年/服薬歴14年)

今回のピア+トークの内容は、私にとってとても興味のある内容だったので参加させて頂きました。私自身も感染がわかってから何かに逆らうようにポジ



ティブに生きようとしてきましたが、どこか無理をしているんじゃないか？と自分自身に疑問を感じていました。スピーカーのお二人の貴重な経験談を聴き、お二人と



もとても輝いていて素敵な方達だと思いました。生活や食べ物の改善をしようと思った理由、前向きにポジティブに生きようと思った理由があり今に至るお二人のお話を聴いて、自分と向き合うことの大切さを改めて理解しました。どんな自分になりたいのかイメージをして、イメージする自分に近づけるように思考を変換させて行動する。そんなことができたらスピーカーのお二人のように美しく輝いて生きられるのかなと思いました。

これからは、ポジティブな感情もネガティブな感情も受け入れて無理せず自然体でいきたいと思いました。でも、美容に関しては積極的に重力に逆らっていきたいと思えます。お二人のお話を聴いて、これからの人生を自分らしく楽しく生きるヒントを頂くことができました。どうもありがとうございました。

### スピーカーより

#### 「ネガティブは願望を知るカギ！」

ぼんず(告知1992年/服薬歴10年/交際中アラフォー女)

信じてもらえないかもしれませんが私、小さい頃は人前で話す事も気持ちを伝える事も苦手でした。今でもそのなごりはございます。人と違うとか失敗が悪い事だと信じてきたからかもしれません。今回このお話し(スピーカーとして語る)を頂いた時も一瞬「期待に沿えなくてみんなをがっかりさせたらどうしよう、こんな事言ったらバカって言われるんじゃないか？」と私の中のネガティブ枠が囁きます。

そうなんです！ポジティブを語る私のルーツはネガティブ。今回は、そんな根がネガ(笑)の私がいつ、どんなきっかけでポジ思考を意識し実践していくようになったのかを、お恥ずかしいエピソードと共にお話しさせて

頂きました！※影響を受けた本もご紹介！私を変えてくれたモノは大きく3つ！失恋・友達・引き寄せの法則。それぞれツタナイ話ではございましたが、自分の言葉でお伝えするチャンスを頂けて嬉しかったです。

ざっくり引き寄せの法則とは？「こうなったら最悪、こうなったら立ち直れない」と思えば、それを裏付けるような事に目が行く。逆に「こうなったら最高！こんな風になったら嬉しい！」と思っても同じ。意識を向けた対称のモノを無意識に見てしまう。だったら願望の方に意識を向けましょう、というシンプルなものです。冒頭のネガ枠の私によぎった言葉もこの法則にのっとって言葉をひっくり返すとこんな風に願望が浮かび上がります「予想以上に盛り上がった嬉しい！来て良かったと思ってもらえたら超嬉しい！」と脳天気な変換が完成！もしかしたらネガティブの数だけ願望もあるのかも？話す事で自分を振り返る良いきっかけにもなりました。

そして過去もそうであったように、これからも人との出会いによって自分も、周りの人も常に変化していく可能性があるんだ！と改めて実感しました！同じ病気の仲間と過ごした暖かいひとときに感謝いたします！ありがとうございました。

※ご紹介した本「サラとソロモン」(エスター&ジェリーヒックス著)

special thanks to アンチエイジングの超カリスマで手作りレモン塩などをくれた、もう一人のスピーカーさん！仕事帰りや、遠方からも応援に来てくれた大好きな友達！いつもお世話になってる我らの生島さん！ありのままの私を引き出して、いつでもどっしり見守ってくれてる彼！愛と感謝を込めて！

## 部門報告 (2014年7~9月)



### ホットライン

HIV/エイズ電話相談(ぶれいす東京および東京都委託)

#### 相談実績報告

##### —ぶれいす東京HIV/エイズ電話相談—

	7月	8月	9月
日数(日)	4	5	4
総時間(時間)	16	20	16
相談員数(延べ)	4.5	5.0	4.5
相談件数(件)	41	53	39
うち(男性)	36	41	30
(女性)	5	12	9
(不明)	0	0	0
陽性者相談	1	2	0
要確認相談	0	0	0
1日平均(件)	10.3	10.6	9.8

##### —東京都HIV/エイズ電話相談(夜間・休日)—[委託]

	7月	8月	9月
日数(日)	12	15	12
総時間(時間)	36	45	36
相談員数(延べ)	26.5	36	26.5
相談件数(件)	184	272	187
うち(男性)	140	178	139
(女性)	44	93	47
(不明)	0	1	1
陽性者相談	0	8	3
要確認相談	0	1	0
1日平均(件)	15.3	18.1	15.6

#### ホットライン部門・活動状況 ( )内は出席人数

##### スタッフミーティング

7月全体会 8/17(7名) 9月中止

##### 世話人会

7月全体会 8/17(4名) 9/28(5名)

個別ミーティング  
7/27 (2名) 8/16 (2名) 9/23 (3名)

東京都電話相談連絡会  
8/8 (3名) 9/12 (3名)

東京都電話相談連絡会全体会  
7/20 (17名)

懇親会  
7/20 (13名)

8月の東京都の電話相談の件数が急激に増えました。相談日数の関係もありますが、1日当たりの件数も平均で3件増加しています。また9月に私が体調不良で休んでいる間に、世話人を中心にスタッフ全員が、運営や予定されている新人研修の準備をしてくれて、心強く思いました。  
(報告：佐藤)



## バディ

陽性者のための直接ケア・派遣プログラム

### バディ担当者ミーティング (7-9月実績)

7/5	: 3名	7/17	: 3名
8/7	: 中止	8/21	: 6名
9/6	: 4名	9/21	: 5名

※ 個別ミーティング 7件

### 利用者数

10カ所の医療機関に通院中の17名の方に23名のバディスタッフを派遣

### 活動内容 (2014年9月末現在)

派遣継続中	17件
在宅訪問	17件
病室訪問	0件
派遣休止	5件

### 7月～9月中の動き

- ・新規派遣・相談 2件
- ・派遣休止 1件
- ・派遣調整 17件

### 今後のミーティング日程

午前ミーティング:

偶数月第1木曜 11:00 / 奇数月第1土曜 11:00

11/1 (土) 12/4 (木) 1/3 (土)

※木曜は参加者がある場合のみ開催。事前にご連絡下さい。

午後ミーティング: 毎月 第3木曜 19:00

11/20 (木) 12/18 (木) 1/15 (木)

### バディの現場から

新規派遣の相談が2件ありました。通院の付き添いと在宅での引越の手伝いで、引越補助は単発での活動となりました。また、地方から転居後のバディ利用について、相談があった方は派遣が開始になりました。休止の1件については、希望される日程で活動できるバディが見つかれば再開する予定です。

(報告：牧原)



## NEST

陽性者とパートナー・家族のためのプログラム

### NEST・プログラム参加状況 (2014年7-9月)

#### グループ・ミーティング

- ・新陽性者ピア・グループ・ミーティング (PGM)第74期 (参加者6名)  
7/18 8/1 (修了)
- ・新陽性者ピア・グループ・ミーティング (PGM)第75期 (参加者7名)  
9/20
- ・第4回新陽性者PGM同窓会  
8/9 (9名、ピア・ファシリテーター1名)
- ・ミドル・ミーティング  
7/12 (27名) 9/13 (40名)
- ・異性愛者のための交流ミーティング  
7/19 (15名、ピア・ファシリテーター2名)  
8/29 (7名、2名) 9/27 (12名、2名)
- ・陰性パートナー・ミーティング  
8/2 (7名)
- ・もめんの会 (HIV/AIDS を支える母親の会)  
9/16 (3名)

#### 学習会

- ・ストレス・マネジメント講座第22期-3  
7/28 (7名)
- ・ストレス・マネジメント講座第23期-1  
9/16 (6名)

#### トークサロン

- ・就職活動を報告しあう会  
7/16 (5名) 8/23 (4名) 9/17 (4名)
- ・介護職として働く陽性者のミーティング  
8/19 (6名)
- ・看護師として働く陽性者のミーティング  
7/26 (5名) 9/27 (5名)

#### ミーティング(陽性者メンバー、ぶれいす東京スタッフほか)

- ・新陽性者PGMファシリテーター・ミーティング  
8/4 (4名、8名)
- ・web NEST運営委員会  
8/25 (2名、2名)

#### ピア・ファシリテーターによるプログラム等 (厚生労働省委託事業)

- ・U40 (アンダー・フォーティ)ミーティング  
～10代から30代の男性HIV陽性者のミーティング～  
7/26 (参加者10名、ピア・ファシリテーター2名)  
8/23 (13名、2名) 9/22 (9名、1名)
- ・第4回就職支援セミナー  
7/31 (27名、参加企業3社)
- ・ピア+トーク第4回「HIV陽性者とアンチエイジング」  
7/5 (ゲスト・スピーカー2名、参加者30名)
- ・セクレタリー(8回 8名)
- ・ピア・ファシリテーター(6回 11名)

#### NEST・ニュースレター

7/3: 7月号発行  
8/7: 8月号発行  
9/4: 9月号発行

## ネスト・ニュースレターPDF版ができました

2014年9月号から、ネスト・ニュースレターをPDF版でもご覧いただけるようになりました。web NEST「ネスト・プログラム」よりダウンロードしてご利用ください。  
<http://web-nest.ptokyo.org/nest.html>

(報告：はらだ／佐藤／加藤)



## Gay Friends for AIDS

ゲイによるゲイ・コミュニティ向け活動 <http://gf.ptokyo.org/>

### Gay Friends for AIDS 電話相談

7月：7件 (1日平均1.75件)

8月：6件 (1日平均1.50件)

9月：5件 (1日平均1.25件)

### 聴覚障がい者向けのメール相談対応

7月：0件 8月：0件 9月：0件

### 「QOGL vol.5」準備中

新人研修も終わり、新しいメンバーも加わって、Gフレでは第5回となる次回のQOGLの準備を再開しています。前回から間が空いてしまいましたが、新しい要素も盛り込みつつ、ある意味「冬らしい」テーマでお送りする予定です。お楽しみに！

(報告：sakura)



## HIV陽性者への相談サービス

### 相談実績2014年7～9月

	7月	8月	9月
電話による相談	138	107	107
対面による相談	67	59	60
E-mailによる相談等	71	43	77
うち新規相談	25	35	26

※メール新規は含まず

### 7～9月の新規相談者の属性 (N=86)

陽性者： 53人 (男性：51 女性：2)

パートナー： 7人 (男性：5 女性：2)

家族： 7人 (男性：2 女性：5)

専門家： 10人 (男性：4 女性：6)

判定保留： 4人 (男性：4 女性：0)

その他： 5人 (男性：5 女性：0)

### 7～9月新規相談者の情報源 (N=86 複数回答あり)

WEB (PC/携帯サイト含)	： 38件
医療関係 (Dr.、Ns.、MSW、クリニックなど)	： 15件
冊子/パンフレット/チラシ	： 9件
以前から知っていた	： 7件
他陽性者	： 4件
人的ネットワーク (家族、本人、パートナー他)	： 4件
カウンセラー	： 3件
障害者職業センター	： 2件
その他	： 1件
不明	： 5件

### 7～9月新規相談の内容 (複数回答あり)

#### 【ぶれいす東京のサービス利用、積極的参加等】〔東海〕

・利用登録 ×11

・就職支援セミナー ×3、ピア+トーク ×1、

・新陽性者PGM ×2、U40 ×2、看護師 ×1、

・ミドル ×1、登録のみ ×1

#### 【検査や告知に関する相談】〔東海、近畿〕

・(判定保留)判明後の不安や混乱 ×2

・(確認前)自主検査キットで陽性、医療機関の受診

・(判定保留)確認検査の結果を聞きにいけない

#### 【告知直後の漠然とした不安】

・告知直後の不安や混乱 ×5

・病院への不信感と転院

・ひげ剃りの共有での他者への感染

#### 【対人関係に関する相談】〔東海、近畿、九州/沖縄〕

・人間関係の閉塞感、関係の広げ方 ×4

・家族との関係性、通知について ×3

・周囲との関係性、通知について ×2

・セックスの罪悪感、セイファーセックス ×2

・通知後のパートナーの家族との関係性

・パートナーへの罪悪感、今後の関係性

・陽性者同士のセックス

・今後の恋愛、子づくり

・他の陽性者に会ってみたい

#### 【生活に関する相談】〔北海道/東北、東海、海外〕

・自立支援医療の申請、対象医療の範囲 ×2

・海外渡航や転居、海外での医療費 ×2

・免許更新時の障害者手帳の申告

・職場の生命保険の加入と告知義務について

・家の購入とローン

#### 【就労に関する相談】〔東海、近畿、九州/沖縄〕

・専門職 (福祉職、看護職、教育職)の就労継続 ×5

・就労の継続、今後の就労、障害枠での就労 ×4

・病名通知と自主退職 ×2

・外国人、入職時の通知、健康保険利用時のプライバシー

・休職時の診断書の書き方

#### 【医療体制や受診に関する相談】〔近畿、東海、海外〕

・海外での医療機関の受診、医療状況 ×2

・通院前の体調不良の対処について

・通院の中断と再開

#### 【病気や病態の変化、服薬】〔近畿〕

・投薬開始直後の不安 ×2

・通院中断時の体調不良と不安

#### 【心理や精神に関する問題】

・薬物依存の治療、危険ドラッグの依存 ×4

・精神疾患の受診、付き合い方 ×2

・HIVの受容の難しさ

【周囲の人からの相談】〔北海道/東北、東海、近畿、中国  
/四国、九州/沖縄〕

<パートナー/配偶者>

- ・(陰バ)通知を受けての混乱、今後の配慮やセックス×4
- ・(配偶者)自分の検査時期、今後の子づくり
- ・(配偶者)離婚を含めた今後の関係性

<家族(親、きょうだい)/親戚>

- ・(父親)自立に向けた家族の関わり方
- ・(父親)通知後の混乱、今後の就労の継続
- ・(母親)日常生活での対応や自分の感染不安、学校の継続
- ・(母親)子供の精神疾患、自分の感染不安
- ・(きょうだい)家族が海外で判明、今後の治療と帰国後の医療費
- ・(きょうだい)通知を受けての混乱、今後の関わり
- ・(親族)親族が陽性、虫刺され薬の共有での感染不安

<その他>

- ・(友人)通知されての混乱、今後の支援×2
- ・(セックスパートナー)体の関係の継続と不安
- ・(知人)就労のハンドブックの入手先について
- ・(同居人)セックスワーカーの同居人が確認検査中、自分の感染不安

<専門家>

- ・(弁護士)拘留中の支援、今後について×2
- ・(MSW)人間関係の広げ方、ネストプログラムについて
- ・(MSW)手帳の取得が難しい方への対処
- ・(MSW)在宅への移行とバディサービスについて
- ・(障害者支援センター)ケースの対応、支援の相談
- ・(ケアマネ)ぶれいす東京のサービスの利用状況について
- ・(企業人事)免疫機能障害者の受け入れ
- ・(障害者就労支援センター)企業の面談の同行支援
- ・(生活保護施設)間接的に入居者の感染を聞いた、今後の対応について

(報告：牧原/生島/福原)



## 研究・研修部門

### 研究事業

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「地域においてHIV陽性者等のメンタルヘルスを支援する研究」

(研究代表者：樽井正義)

- ・7月4日：肥田分担研究会議を開催(於アパリ・クリニック)。参加者4名。
- ・7月11日：研究代表者・分担者会議を開催(於ぶれいす東京)。参加者5名。
- ・8月24日：研究代表者・分担者会議を開催(於ぶれいす東京)。参加者4名。

「地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト」(<http://www.chiiki-shien.jp/>)で、研究報告書のPDFを閲覧・ダウンロードいただけます。

### 研修事業

ぶれいす東京新人ボランティア合同研修・オリエンテーション

- ・9月6日：新人ボランティア・オリエンテーションを開催(於新宿NPO協働推進センター)。参加者21名。
- ・9月14・15・21日：新人ボランティア合同研修を開催(於新宿NPO協働推進センター)。参加者18名。  
詳しくは、2ページの記事をご覧ください。

### 受託研修協力

- ・9月27日～28日：青年海外協力隊エイズ対策技術補完研修(シェア＝国際保健協力市民の会主催)に運営協力。参加者12名。

### その他の講師派遣・研修

- ・7月12日：関東甲信越HIV全体会議にて講演。参加者100名。
- ・7月22日：沖縄県保健所研修会にて講演。参加者12名。
- ・8月2日：「LIVING TOGETHER in 渋谷」に出演。参加者30名。
- ・8月4日：日本教職員組合「両性の自立と平等をめざす教育研究集会」にて話題提起・助言。参加者80名。
- ・9月25日：スタンダードチャータード銀行にて講演。参加者30名。
- ・9月29日：東北ブロック「HIV検査担当者向け研修会」にて講演。参加者15名。

(報告：生島/牧原/大槻)

## アドレス変更のお知らせ

「com」から「org」に変更になりました!

### ■メールアドレスの変更

ぶれいす東京が利用しているメールアドレスが、2014年6月23日から変更になっています。スタッフが利用しているメールアドレスも変更になりました。

例：office@ptokyo.com → office@ptokyo.org

※携帯電話などで迷惑メール対策のためドメイン指定をされている方は、「ptokyo.org」が受信できるように設定の変更をお願いいたします。

### ■WebサイトのURL変更

ぶれいす東京Webサイト

<http://www.ptokyo.com/>

→ <http://www.ptokyo.org/>

web NEST

<http://web-nest.ptokyo.com/>

→ <http://web-nest.ptokyo.org/>

HIV陽性者の視点で読み解く 長期療養時代

<http://chokiryoyo.ptokyo.com/>

→ <http://chokiryoyo.ptokyo.org/>

日本エイズ学会学術集会「HIV陽性者参加支援スカラシップ」

<http://www.ptokyo.com/scholarship/>

→ <http://www.ptokyo.org/scholarship/>

「アドレス帳」の更新、「お気に入り」の変更をしていただきますようお願いいたします。



# Living with HIV

## ～身近な人からHIV陽性と伝えられたあなたへ～

《新Webサイト》と《冊子無償配布プログラム》スタートしました！

「Living with HIV」は、HIV陽性者のパートナー・家族・友だち・職場の仲間など、身近な人からHIV陽性と伝えられた人とHIV陽性者による計24編の手記と、基礎知識やデータを取りまとめた短いコラムなどからなります。

より多くの方々にご覧いただき活用いただけるように、新たにWebサイトを開設し、同時に冊子無償配布プログラムを始めました。

### ■ 新Webサイトの開設

2013年4月に冊子として発行された「Living with HIV」のWeb版ができました。冊子とほぼ同様の内容をWeb上でご覧いただくことができます。

URL: <http://lwh.ptokyo.org/>



### ■ 冊子無償配布プログラム

多くの人にこの冊子を手にとっていただき、さまざまな形で活用していただけるよう無償で配布をすることとなりました。(2015年3月まで)

詳しくは、ウェブサイト <http://lwh.ptokyo.org/> 「冊子を手に入れたい方へ」をご覧ください。



### さまざまな立場の方にご活用いただけます

- ① 身近な人からHIV陽性であることを伝えられた方々
- ② “伝える／伝えない”について考えているHIV陽性者の方々
- ③ HIV/エイズの理解を深めたい専門職・支援職の方々
- ④ HIVに関心を持っている多くの方々

## 寄付のお願い

HIV陽性者とその周囲の人たちへの支援サービスの提供、コミュニティとして取り組んでいる予防活動など、私たちの活動へのニーズはますます高まっており、必要な経費も増え続けています。よりよいサービスやプログラムを継続するために、ぜひ私たちの活動を資金面からも応援してください。

- 銀行振込で寄付
  - クレジットカードで寄付(1回ごと/毎月定額引き落とし)
  - 賛助会員として継続して応援(年一〇万円～)
  - 「BOOK募金」(不要になった本、DVD、ゲームなど)
- 詳しくはWebサイトへ  
<http://www.ptokyo.org/donation.php>

### 編集後記

- ・目につくすべてのことはメッセージ♪ 今年出逢った全ての人に…ありがとうございました！(こんどう)
- ・エボラ出血熱へのメディアの対応をみていると愕然とする。行政は患者の感染が確定する前段階で、年代や性別などを公表するようだ。安心して検査を受けられる環境をつくるのが社会全体に利益をもたらすことを、エイズに学んだはずなのに。(しくしま)
- ・東京も急に寒くなってきました。ホットカーベットを出したり、ポロシャツをしまつてウールのセーターに袖を通してみたり、ペランダの観葉植物を室内に移動したり。それから、インフルエンザの予防接種にも行きました。これもまた冬支度。(やじま)

### 編集・発行：特定非営利活動法人 ぷれいす東京

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403  
TEL: 03-3361-8964 (月～土 12～19時 ※祝祭日を除く)  
FAX: 03-3361-8835  
E-mail: [office@ptokyo.org](mailto:office@ptokyo.org)

ぷれいす東京: <http://www.ptokyo.org/>  
Gay Friends for AIDS: <http://gf.ptokyo.org/>  
web NEST: <http://web-nest.ptokyo.org/>  
Twitter: @placetokyo (<http://twitter.com/placetokyo>)  
Facebook: <http://www.facebook.com/PLACETOKYO>